

新年度が始まりましたが、まずは昨年度の話の一つしたいと思います。職員会でも紹介したのですが、昨年度のある3年生の御祖母様からお手紙を頂きました。時々お手紙を下さる方で、年に何通か頂きましたが、これは3月に頂いた手紙です。そこには、孫（昨年度3年の生徒ですね）が志望校に合格した事、長野吉田高校に入学して良かったということ、同じ学年の仲間が次々と志望校に合格している事が書かれています。私はこれを読んで、「とても良いな」と思いました。仲間の合格を喜べるというのは愛校心があるということで、愛校心があるということは、きっとこの生徒は楽しく、張り合いのある学校生活を送ったのではないかと思います。楽しくなかったら愛校心も生まれませんし、仲間の合格を素直に喜べないと思うのです。

思い出してみると、今年の3年生は色々な生徒がいましたが、何かに打ち込んで学校生活を楽しんでいる生徒が多かったという印象があります。班活動に打ち込んでとても生き生きとしていた生徒で、私立大学も国立大学も難関校に受かった生徒もいます。生徒会に打ち込んで医学部医学科に受かった生徒もいます。余談ですが、その生徒と話していて私が「将来病気になったら君に診てもらおうかな。」と言ったら、その生徒に「いえ、先生、病気にならないようにお過ごしください。」と言われて、一本取られたというか、大人の対応の中に優しさも感じて心の中で脱帽しました。その生徒は本当に生徒会に打ち込んでいました。多くの生徒に共通して感じたのが、「生き生きと楽しく何かに打ち込んだ生徒が、班活や生徒会や進路などで良い結果を残している」ということです。考えてみれば当たり前のことで、嫌々やっている人が良い成果を出せるわけがありません。皆さんも残り1年か2年の高校生活を楽しく過ごしながらか、張り合いを持って色々な事に打ち込んで欲しいと思います。どうすれば楽しくなるかは人それぞれだと思うので、それぞれ考えてみてください。なんとなく「楽しくなればいいな〜」とだけ思っているだけではイマイチだと思います。

さて、明日の入学式から新一年生が登校します。皆さんにはカッコイイ先輩になって欲しいと思います。カッコイイと言っても、上辺だけのカッコよさではなく、芯からカッコイイ、半年後、1年後に「あの先輩はカッコよかったなあ」と後輩から思われるような先輩になってください。

講話は以上です。一年間よろしくお願いします。